



こがねざわまさし
小金沢 優 議員
(りっけん戸田)

録画配信


介護する人される人、どちらにも優しい制度に

公園での手持ち花火使用

Q 原則禁止の公園での花火使用について、実証実験を行う背景や市民ニーズ、対象6公園の選定基準や地域バランス、違反時の対応、騒音や煙など近隣への安全対策を問う。

A 市民からの複数の要望や町会・自治会への意向調査の結果から、地域の愛着を育み魅力ある公園づくりを推進するため、ルール厳守を前提に手持ち花火が使用できる実証実験を行う。4方向が道路に囲まれ一定のスペースがある6公園などを地域バランスも考慮し選定した。広報やホームページなどで周知し、違反を確認した場合には別途巡回や注意喚起を行い近隣への迷惑防止に努める。



花火が夏の思い出となるよう公園利用継続と拡充を

在宅介護を支える福祉用具購入制度

Q 申請手続きで3回も市役所に赴く事業者の負担認識と、ポータブルトイレの消臭機能やラップ処理袋の許可、温水洗浄便座への助成など、在宅生活を支える柔軟な給付判断を問う。

A 購入後に介護保険からの給付対象外となる不利益を防止する観点から事前申請を求めている。事業者の負担軽減は重要と認識しており、近隣市の状況を踏まえ見直しを検討する。またポータブルトイレの消臭・衛生機能や温水洗浄便座などの付随機能の給付は、国の判断基準に基づき市が個別に判断しているが、今後は利用者の心身状況や変化、他市の判断事例も参考に介護者の介護力、居住環境などを十分に踏まえ適切に判断していく。



やまやかほ
山屋 佳代 議員
(戸田の会)

録画配信


学校教育の伝統文化の取り組み

Q 近年、日本文化に関心が高まる中、自国文化を説明できない日本人が多いとの指摘を耳にする。そこで学校教育で伝統文化学習に取り組んではどうか。

A 小学校の社会で副読本「とだ」や郷土博物館での学習、中学校の音楽で琴の演奏、英語で自国文化の紹介などに取り組んでいる。また、ささら獅子舞、沖内囃子^{はやし}など地元保存会の方を講師とした体験も行っている。

Q さらなる機会拡充として、地域クラブ活動に追加し、自ら選び学べる場を広げてはどうか。地域人材の活用は、大人たちとの交流や子供たちの見守りにもつながり、感性を伸ばし世界を広げるきっかけになる。

A 今後も体験活動を通して、子供たちがより豊かに成長し、世界が広がり、グローバルな資質を育んでいく。



ささら獅子舞

高齢者の支援体制づくり

Q 高齢者の見守り、支援制度の周知は重要。ホームページだけでは情報が届きにくい。本市の取り組みは。

A 地域住民、民生委員、地域包括支援センター、警察、民間事業者などと連携し、緊急通報機器やGPS助成などの見守り体制を構築。各種案内チラシ配布や広報掲載などにより、相談時の適切な支援や資源の案内を実施している。

意見 本市は、移動スーパーとの連携や多様な制度・サービスに加え、高齢者の見守りや居場所づくりにも力を入れている。こうした情報が誰一人取り残されることなく周知され、支援の輪が広がり、高齢者が住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らし続けられるまちづくりの推進を希望する。



さかい
酒井 いくろう 議員
(戸田の会)

録画配信


オープンで公正なまちをつくろう！

契約の透明性・公正性の確保を！

Q 本市ではプロポーザル方式^{*}や包括連携協定の導入^{*}が積極的に進められている。金額だけで業者が決まる入札と異なり、行政側の裁量やさじ加減によって選定結果が左右されるため、一步運用を誤れば、契約の公正性が揺らぎ「特定の業者への利益誘導ではないか」という疑念を招きかねない。①包括連携協定において1円でも費用が発生する場合、入札等競争性の働く調達とすべき②選定委員に外部委員を導入し、委員名を事前公表すべき③提案資料や選定過程を公表し透明化すべき。

A ①現状、協定を理由とした随意契約を禁止する規定はない。必要に応じて追記を検討する②③研究する。

施設での投票の公正性の確保を！

Q 指定施設^{*}での外部立会人の設置は公職選挙法上の努力義務とされているが、本市の対象12施設ではこれまで設置実績が一度もない。外部の目が一切ない環境で、職員が「〇〇候補がいいですよ」などと声をかける、手を添えて特定の候補者名を書かせるなどの行為があっても、それをチェックする手段がない。入所者にとって、施設職員は日々の生活や命を委ねている存在であるため、自分の意思とは異なる投票をしてしまうリスクが高い。導入に向けた考えは。

A 積極的に導入していただけるよう、市職員が全12施設を訪問して趣旨説明し、一つでも導入できるよう工夫を図る。



投票立会人を務める施設職員（画像はイメージです）

^{*}プロポーザル方式：民間企業の提案によるコンペ方式の業者選定。

^{*}包括連携協定：自治体と民間企業の総合的な協力契約。

^{*}指定施設における不在者投票：病気や高齢などの理由で、病院や老人ホームに入院・入所している人が、施設の中で投票できる仕組み。



えんどうひでき
遠藤 英樹 議員
(政策 TODA)

録画配信


ふるさと祭り^{*}と商工祭の同日開催

Q 同じ日に同じ会場で別々の祭りを開催する認識だが、出店やステージなどのイベント運営や出納管理、人員体制は別々となるのか。

A 双方の実行委員会が締結した覚書により、それぞれが役割などを担う。なお、収入と共通経費の支出はふるさと祭り側で一元管理するほか、人員についても双方が協力していく。

意見 これまでの説明から、議員や祭りに携わる市民は同日だが別々に開催すると理解していたが、これだけの共通点があり、これで開催時間も延長されないのであれば、事実上は一つの祭りであり、合併と認識するのが通常だ。市民へ状況が正確に伝わるよう、事前の説明と、事後の評価をしっかりと行ってほしい。



市民の手による、市民のためのお祭りを！
(上) 商工祭青年部ブース
(下) ふるさと祭り

飼い犬へのリードの使用

Q 先日、彩湖・道満グリーンパーク内でリードを付けずに飼い犬の散歩をしている人がいるとの情報を市民からいただいた。大変危険であると考えが、どのようなルールと対応になっているのか。

A リードの使用については、埼玉県動物の愛護及び管理に関する条例で規定されており、巡回や貼り紙による注意喚起、定時放送を実施するとともに、このような行為をしている飼い主への指導を行っている。

意見 事故があれば、過失傷害罪に該当すると考える。飼い主から犬への信頼に基づく行為であると思うが、第3者には恐怖を与え、危害を加えてしまう可能性のある重大な行為と認識して厳重に指導してほしい。